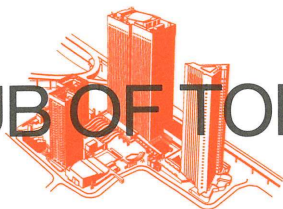




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Sow the Seeds of Love

「ロータリー：慈愛の種を播きましょう」

「ロータリーで喜びを！ー参加しよう、友達になろう、クラブライフを楽しもうー」

2002～2003年度・国際ロータリーテーマ／ビチャイ・ラタクル会長

2002～2003年度・東京新南ロータリークラブテーマ／吉田用親会長

【本日の例会】 7月26日 第756回例会

◎第2回クラブ協議会

「クラブ拡大について」

(例会後13:10～14:30)

【先週報告】 7月19日 第755回例会

◎親睦活動委員会報告（青野委員）

次回火曜会は8月6日18:00から東京全日空ホテル37Fアストラルで行われます。パネラーに武下朗会員、石井謙次会員をお願いし、「クラブの魅力を語ろう」というテーマでお話いただきます。ぜひ、皆様お誘い合わせの上ご出席下さい。

◎前年度クラブ会報委員会報告（小杉眞史前年度委員長）

本日、2001～2002年度「卓話抄録集」が出来ましたので、皆様のBOXに入れました。大変な努力の成果ですので、是非お役立ていただきたいと思います。

◎出席報告

会員66名／出席43名・欠席23名（出席規定免除者6名）
ビジター3名

地区ロータリー情報委員長会議の報告

ロータリー情報委員長 武下 朗

地区ロータリー情報委員長会議が7月11日（木）京王プラザホテルにて行われました。

十蔵寺クラブ奉仕委員長、松野クラブ奉仕副委員長、そして本年度はロータリー情報委員長を兼務している松崎ガバナーの挨拶で始まり、松崎ガバナーご自身が「クラブロータリー情報委員長の責務について」というタイトルで講話をされました。

続いて、荒川ガバナー月信・インターネット部会長から「2002-03年度ガバナー月信について」説明が行われました。今年度はガバナー月信を再開し、年次報告書については簡素化を図るとの提案で、活発な質疑応答が行われました。さらに、杉本ロータリー情報副委員長から「クラブロータリー情報委員会及び雑誌委員会についてのアンケート結果」の報告、さらにクラブ奉仕カウンセラーの秋山パストガバナーによる「ロータリークラブの重要性」というテーマの講話が行われ、松下副幹事の閉会の挨拶で終了となりました。



7月19日／11件 34,100円

2002～2003年度累計 134,100円

多額の御寄付を有難うございました。

角廣志さん（東京中央RC）／ビジターフィーのおつりです。藤後幸生／昨日ロスアンゼルスから戻って参りました。日差しは強いのですが、乾燥したとても過ごしやすい陽気でした。この渡米で新年度早々、2回連続で例会を欠席してしまいました。本日から新たな気持ちで喜びを持って参加させて頂きたいと思っております。本日はイニシエーションスピーチ頑張ります。馬場一廣／落した現金が戻ってきました。東京もまだ見捨てたものではありません。吉田用親／藤後さん、本日のイニシエーションスピーチ楽しみにしています。頑張ってください。吉田武／藤後さんのイニシエーションスピーチたのしみにしています。後藤さんニコニコごくろうさまです。四分一勝／スペインの孫が2週間来ていましたので今年度は今日からです。荒木昭文／暑中御見舞申し上げます。Thierry Consigny／3年間かかったプロジェクトが成功しました。ホットしました。吉岡琢磨／藤後さん、イニシエーション楽しみにしています。又、激励の電報有りがとうございました。土屋東一／打上げ会でのニコニコ紹介の写真をどなた様からいただきました。御礼申し上げます。後藤完夫／もうすぐ梅雨アケです。

7月臨時理事会議事録

日 時 2002年7月19日例会前11:50～（持ち回り）

場 所 東京全日空ホテル B1 オーロラ（例会場）

出席者 吉田（用）、小杉（修）、荒木、大日方、立林、開発、吉岡（順不同・敬称略）

決議事項

1. 新会員候補者1名の推薦受付を承認。
2. 新会員候補者1名の入会を承認。

ロータリーレートの変更

8月1日から1\$=120円（現行126円）に変更

「アメリカから見たアジアに於ける日本」

当クラブ会員
株式会社タフ・コーポレーション 代表取締役
藤後 幸生



私はアメリカに家族をおき、日本とアメリカを拠点にビジネスを展開して参りました。現在は日本の流通と外食を中心とした都市における街づくりをさまざまな視点を通して提案させて戴いております。その様な立場から、本日は「アメリカから見たアジアにおける日本」について少しお話させていただきます。

国際化時代の到来と言われる今日、島国日本で育った我々に、違った視点から見極める必要性が迫られていると感じざるをえません。

では、具体的な方法論として「大きさの比較」もそのひとつではないでしょうか。例えば、日米を比較してみますと、ロサンゼルスからサンフランシスコまでは、東京から岡山までと同距離であり、カリフォルニア州だけでも、日本全土と北海道がもうひとつ入るほどの大きさです。また全米の大きさは、東南アジアとほぼ同等です。ロスからニューヨークまでと東京からシンガポールまでが同じと思えば納得がいく大きさだと思います。これは「グローバルスタンダード」を判断する上で我々が注意しなければならない最初の最低条件とでもいえるのではないのでしょうか。

国土の大きさは日本一国だけでアメリカ一国とを比較するには無理があります。「国土の大きさが分かって初めて国際化が始まる」というものです。

また、グローバルスタンダードを考える上で2番目に重要な点は、物の見方、考え方が全て「西洋」と「日本」とでは全く『逆』であ

ると思って間違いありません。身近な例では「左側通行と右側通行」「縦書きと横書き」「信号機の縦と横」「皿を置くか持つかの食事の作法」等々沢山あります。今まで述べてきたことから、全ての物を考える時、日本から眺めているだけでは難しいということがおわかりいただけると思います。

私は「アメリカから見たアジアに於ける日本」はどうあるべきかを絶えず話してまいりましたが、時にはそれが受け入

れられないこともありました。私の発言が「何だ、当たり前ではないか」と言われた時、グローバルスタンダードが到来したと初めて感じられると思います。残念ながら、まだまだそれは遠い先のようです。せめて我々だけでも、真のグローバルスタンダードに向かって、発想と物の見方の転換を図って行こうではありませんか。

「めんぼう」投稿のお願い

クラブ会報委員長 圓谷 正和

昨年度大好評を頂いた「めんぼう」を本年度も継続したいと思っているのですが、原稿のストックが全くありません。つきましては、まだ「めんぼう」をお書きでない方は勿論、既に投稿された方でも結構ですので、早急に原稿をお送り頂こうお願い致します。

「めんぼう」要領

- 1) 内容:「私とロータリー」「私の哲学」「座右の銘」「私の家族」「趣味・健康」等自由ですが、新会員の中には占参会員のことを知らない人が多いようですので、イニシエーション・スピーチのような内容(つまり会員自身の紹介)も大歓迎です。
- 2) 文字数: 1000字から1200字の範囲で、できるだけWordファイルをお願いします(なお紙面の都合で一部省略させて頂くことがあります)。
- 3) 原稿送付先: クラブ会報委員長 圓谷
e-mail: tsumuray@fd.catv.ne.jp

念のため、まだ「めんぼう」未投稿の会員名を記載しますので、お忘れになっていた会員はこれをきっかけに奮って投稿ください。

(未投稿会員)

青木、荒川、荒木、石坂、岩上、大村、尾上、尾関、小原、加藤、河原、川鍋、後藤、斉藤、柴本、四分一、島田、新保、高須、武下、立林、田村、土屋、二宮、馬場、早川、渡邊、保森、山下、山根、岸、伯井、松田、ジョン、松浦、柴田、清水、藤後、佐々木、吉田(武)、コンシニ

(敬称略、順不同)

【次週予告】8月2日 第757回例会

◎卓話予定 イニシエーションスピーチ

「コンピュータ、旅行そして音楽」

当クラブ会員

株式会社アイラス 取締役 清水 實 君